

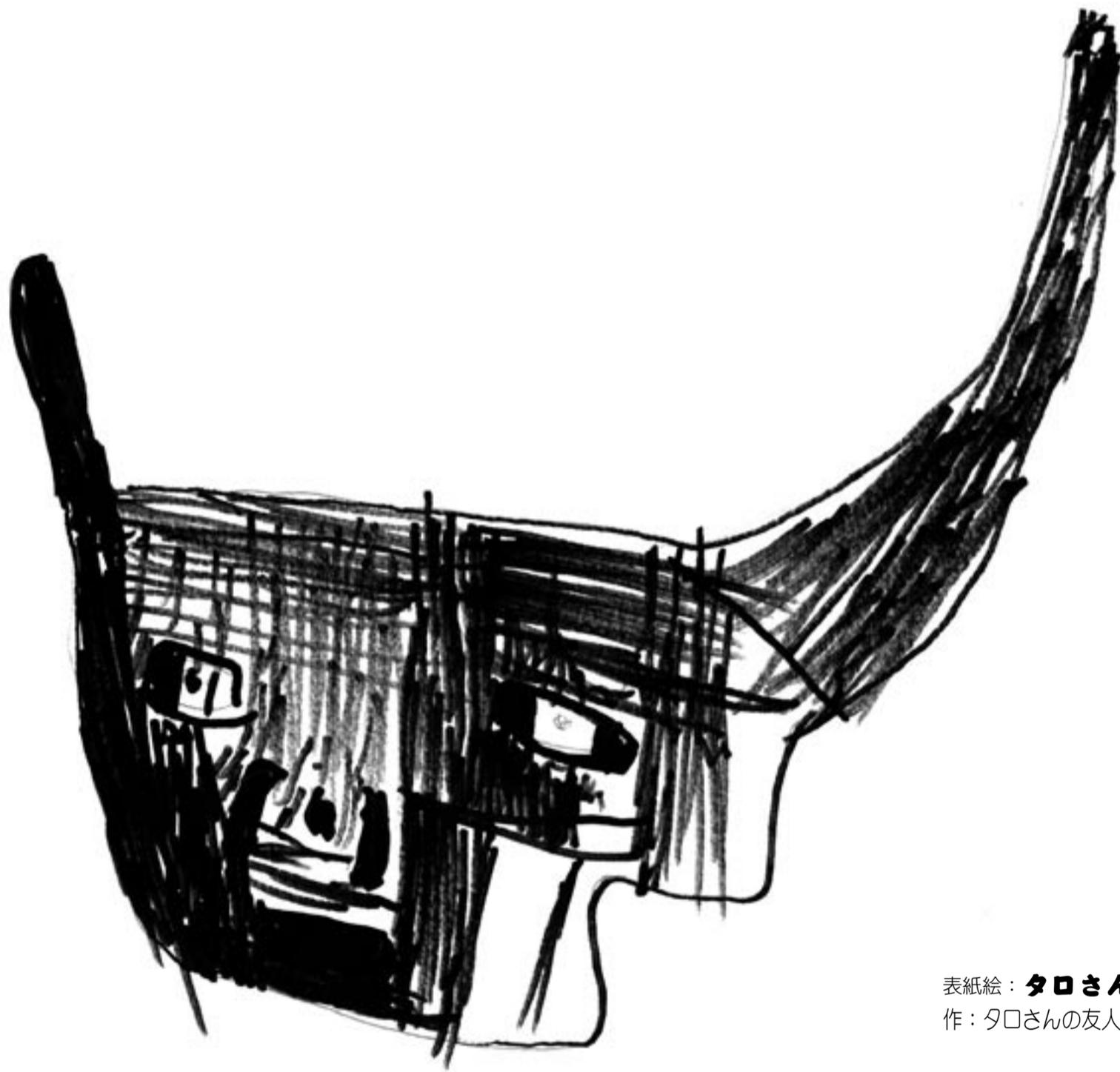
編集人：ぶくぶくの会 〒564-0025 吹田市南高浜町 1-17-2A (総務)
TEL 06-6317-5598、FAX 06-6317-0936 Mail: so-mu@puku-2.com URL: www.puku-2.com
代表：馬垣安芳 編集長：上田かおり 1部 200円
年間購読料：個人会員 2000円 広報会員 (3部) 5000円
法人会員 1口 (5部) 10000円 賛助会員 (1部) 10000円
振替口座 00940-0-161341
「まねき猫通信」



題字：
塩澤 文男
(しおざわ・ふみお)

もくじ

とくしゅう じんこうこきゅうき	じりつ	
特集：人工呼吸器ユーザーの自立	2	
「バター不足」から見える日本の農政	4	奥野和夫
新聞の作り方-死を報じる難しさ	5	石塚直人
吹田の生き物と人④-クマゼミとアブラゼミ	6	高島耕一郎



表紙絵：タロさん
作：タロさんの友人

トリの眼・ムシの目・ニャンコの目

何をどのようにに発想すれば後期高齢者という用語が生まれるのだろうか？

後期があれば、当然、前期があるだろう。時間や空間、順序などの物理的な区切りであれば「前期・後期」は納得がいくが、人間の年齢区分に「後期」を冠するとは、まさに「もうすぐ死ぬ人々」という語義の言い換え以外何もでもない▼「もうすぐ死ぬ」どうせ死ぬ「のだから温かい福祉や厚生は不要だ、という為政者の本音が「後期高齢者」の用語には滲み出ている。それは「障がい者は生産能力のない無意味な存在だ」と規定する差別者の思想と通底する。△命Vの値踏みをしなから「効率」でしか物事の価値を判断しない社会システムのホンネが、見事に顕在している▼「近代合理社会は、生産性を高め、利潤を上げるためにますます合理化、機械化、画一化への方向へ加速度を強めてあります。しかし人間は本来不合理なものですから、それへの抵抗が起ころのは当然」だと故・横塚晃一は言った。彼の残した『母よ！ 殺すな』は、不合理に満ちた告発の書だ。人間愛に貫かれたこの書をバイブルに、生きて生きて生き抜いて「末期高齢者」の生きざまを見せつけてやるのではないかと「前期高齢者」の私は思うのだが…。(ハギ)

頸髄損傷

人口呼吸器ユーザーの自立

自分の人生、人の輪広げて楽しみたい

シンポジウム・高位頸髄損傷による人工呼吸器使用者の可能性

5月10日(土)、大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)で大阪頸髄損傷者連絡会の主催で、シンポジウム「高位頸髄損傷による人工呼吸器使用者の可能性—呼吸ケア先進国カナダの当事者とともに考える—」が行われました。頸髄以上の参加者で、会場はいっぱいでした。

シンポジウムは、2部に分けておこなわれました。第一部は、カナダ・BC州のバンクバーから、頸髄損傷者で四肢麻痺の障がいをもつダン・ルブランさん(30)の講演。第二部は、大阪・兵庫の頸髄損傷者連絡会のメンバー3名とルブランさんのパネルディスカッション「呼吸器をつけて地域で生きよう」でした。

「頸髄損傷(頸損)とは、交通事故や高い場所からの落下事故によって、背骨の上の方にある「頸髄」が傷つくことです。この部分は、脳から全身につながる神経が集中している部分なので、傷ついた部分によって手足が動かなくなったり、自発呼吸が困難になったりします。損傷した位置が脳に近ければ近いほど障がいも重くなります。

人工呼吸器の使用は、外出しようと思っても、なかなか思うようにいきません。呼吸器をつけているのを見て介護者が帰ってしまったり、受け入れてくれる障がい者施設が少なかったり…。

パネラーは「呼吸器ユーザーが地域で普通に暮らしていけない」という現状の中で、①人工呼吸器をつけていることは、特別なことではない、②頸損者同士でカラオケに行ったりして、人の輪や外出する機会を広げたい、③自立の実現に向けて試行錯誤しながら、なごを語りました。(編集部)

頸損者を支える。カナダの呼吸ケア

「環境デザイナーとして働きたい」。ダン・ルブランさんは、将来の目標について、こう語ります。もともとヨット・サーフ

イン・スノーボードなど、アウトドアが好きなルブランさん。木製ボートを作る仕事に就いていたそうです。

2004年にバイク事故で頸髄損傷の障がいを負った後も、呼吸スイッチを利用したヨットに乗って、大好きな海を楽



▶カナダの報告をするダン・ルブランさん(右) 小学校で子ども達に車イス体験を指導する赤尾広明さん(下)



しんでいます。事故後、「これから一生車椅子生活なのか」と挫けそうになっていたルブランさんを励ましてくれたのは、リック・ハンセンさんという人でした。ハンセンさんは、1985年、頸損研究のための基金を募るため、車椅子で世界一周をした人です。ハンセンさんは、入院中のルブランさんに「人生は、脊髄損傷を負った後も続く」と話して、ルブランさんを勇気づけたそうです。

6年、ルブランさんは「横隔膜刺激ペースメーカー」をつける手術をしました。すでに横隔膜ペースメーカーをつけていた知人が、人工呼吸器を

使わずに、自然呼吸をしている様子を見て、自分も手術するかどうかの決断は早かったそうです。これには理由があります。海辺に面する2階建の一軒家に住むルブランさんは、24時間介護を必要としているので、介護者の一人に同居してもらっています。

かつては恋人と一緒に住んでいましたが、彼女への負担が大きすぎて、彼女は出て行ってしまいました。その時、ルブランさんの状況が大きく変わったといえます。「暮らし方を変えなくてはいけない」と考え、より自立に向けて努力するようになったそうです。

ルブランさんは、バンクバー

で「シーソープログラム」と呼ばれる自己管理型ケア制度を使って暮らしています。シーソープログラムでは、障がい当事者に直接お金が支給されます。当事者自身がお金の管理をするだけでなく、介護者を探したり、介護に当たって必要な訓練を受けさせたり、介護日程を立てたりします。

ルブランさんが暮らすブリテイツェム(B.C)州では、人工呼吸器使用者の自立サポートシステムには、4つの選択肢があるそうです。①ピアソンセンター(療護施設)、②クリークビュー(グループホーム)、③ミレニウム・パレス(公的賃貸住宅)、④地域の一般住宅での生活です。

「頸損者の生活利便性」で言えば、日本とカナダでは、大きな差はないそうです。ただカナダでは、自己選択・地域社会の中で自己決定能力を習得できるような訓練がおこなわれ、また人工呼吸器を必要とする人々へのサポート(装置・機器の貸与や保守管理、呼吸ケア、教育など)が充実しており、人工呼吸器使用者の生活を支えています。

なかなか外出できない呼吸器使用者

シンポジウムを主催した実行委員長・赤尾広明さん(大阪頸髄損傷者連絡会会長)にお話をうかがいました。

かがいました。

赤尾さんは、高校の体育の授業中、首の骨を折りました。リハビリ等も兼ねて1年半の病院生活を送った後、21年の在宅生活を送っています。事故後2カ月は呼吸器をつけていましたが、初期の段階で呼吸器を外すためのトレーニング

グをおこない、自発呼吸ができるまでに回復しました。現在では、大好きなゆず・大塚愛のライブに出かけるなどして、毎日楽しんでいきます。

赤尾さんは、首の動きでパソコンのマウスを動かすシステムを使って、インターネットでの情報検索や電子メールのやりとりをおこなっています。今回のシンポジウムの準備でもパソコンの作業や、メールのやりとりで大忙しだったそうです。

頸損連の会員は全国で約700人(大阪は180人)。自立している人の割合はだいたい

い3〜4割です。特に重度の頸損者にとって「自立」の壁は厚く、「なかなか踏み切れない」とのこと。ヘルパー確保の問題・時間数の問題、また経済的な問題、家探しが大きな問題になってきます。

呼吸器を使う頸損者で、「家から出られない」人はまだまだたくさんいます。頸損連では、病院の先生を通して紹介してもらったり、自宅訪問したりして、「一緒にやってみよう」と話をしていきます。

バーベキュー大会・ホテルの鑑賞会・カラオケなどの遊びの

場を提供しながら、「外出できる環境づくりのきっかけになれば良いな」という思いでやっていて、その成果は、少しずつ出てきているそうです。

「とにかく自分の人生を楽しむのもいい」



自室でインタビューに応える赤尾さん

「とにかく、自分の人生を楽しむのもいい」と赤尾さんは言います。「家の中でも、できることはありますが、前向き・外向きな気持ちを持てれば、どんどん楽しくなっていくと思います。障がいがあってもなくとも、人の輪を広げていきながら、楽しんでいきたい」「こう締めくくってくれました。

梅田の阪急東通りを歩いていたら、繁華街を歩いている人が歩いて呼吸器をつけている人が歩いて

いるなんて…。それも僕も一緒になつて歩いている。感動的なものがありました。今でも、仲間と飲みに行ったり、カラオケに行ったりして交流を続けています。「個人的な楽しみだけではなく、人とながついていく楽しみをもっと広

福祉と医療の連携を!

地域で生き活きと生活できるシステム

入部 香代子



私は、今まで施設や障がい者運動をする中で、脳性まひの人たちや知的障がい者と出会ってきました。知的障がいの人とは、向き合える自信はあります。また、精神障がいの人たちとは縁があって、いろんな人と付き合ってきました。

しかし、事故や交通事故によって、「中途障がい」をもたれた人たちのお付き合いはあまりありませんでした。今回の赤尾さんへの取材で、初めて「中途障がい」をもつ人の気持ちを聞く機会を持つことができました。

赤尾さんは、ベッドの上に横たわり、取材に答えてくれました。頸髄の3番目を損傷した人は、受傷当時8割の人が亡くなると言われていたそうです。「病院が近かったことや、病院に人工呼吸器があったから助かったのです」と赤尾さんは言います。

赤尾さんのベッド生活は、21年になります。私だったら、何の情報もなく、ひたすらベッドでの生活を強いられ、死にたい思いになったかもしれません。私は、ベッド生活ではなかったのですが、病気で体のバランスを崩し、何も自分でできなくなった時は、「死にたい」「消えたい」と痛切に思いました。「なぜ、産んだの」と母を責めていました。

昨日まで手足を動かさず、普段と変わらない生活を送っていた人が一瞬の事故で自由が奪われるのは、受け入れ難いでしょう。受け入れるのに何年もかかった人もいますでしょう。アメリカでは、頸髄損傷になった直後からカウンセラーが付くそうです。カウンセリングの支援内容は、セックス、経済的なこと、住宅や移動の問題、仕事などです。当事者の失われたところを少しずつ自信を持たせ、リハビリへ導くのです。

日本の医療は命を助けるだけで、それから先の生活をイメージした支援はほとんどありません。アメリカなどでは退院後の生活を考え、展望をもてるような支援システムがあります。日本の国はこの辺が欠落しています。

なぜでしょうか? 「福祉と医療の連携がない」からだ、と私は思います。頸損連のシンポジウムに出席して、私はそのことを再認識しました。

医療はどんどん進歩します。しかし医療だけでは生活できません。どんな障害をもっても、誰もが遠慮せず、地域で生き活きとした生活ができるようなシステムをつくるために、より多くの情報を持ち寄り、当事者の力を集めていきましょう。





泡の役割

界面活性剤の「起泡」という作用があります。洗浄は、固体と液体の間の界面で起る現象です。泡立ちが液体と気体の間の界面で起る現象なので、洗浄と泡立ちには関係がありません。



しかし、良く泡立つ濃度だと十分な洗浄力があるため、泡立ちの程度は洗浄力の目安になります。

また、泡には滑らかな表面から汚れを吸い取って包み込むはたらきがあります。他にも、泡は軽くてなかなか流れ落ちないので、壁や浴槽などの傾斜面の洗浄に役立つ、少ない洗浄液を広い面積につけることができる、などの利点があります。

身体を洗うときや食器を洗うときのようには、少量の洗浄液で広い面積を洗う場合には、泡で汚れを吸い取って包み込むはたらきが重要で、石けんや食器を洗うときに、スポンジで良く泡立ててから洗うと汚れ落ちがよいのはこの

のためです。

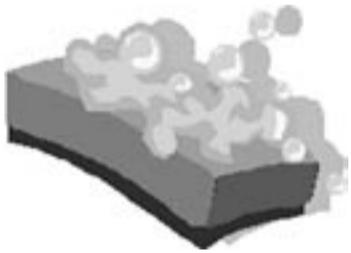
泡をぬりつけて、しばらく時間を置いて汚れを浮かせる洗い方があります。網戸を洗うときや、カーペットのしみ抜きするときがそうです。顔を洗うときも、泡で汚れを浮かせるようにして洗います。泡には、汚れを吸い出して包み込むはたらきがあります。

洗うもの・洗う方で泡の役割もさまざま

洗濯のときも泡は大事ですが、これは泡で汚れを吸い出しているというわけではありません。洗濯物のほとんどは水の中に入っている、網戸洗いのように泡で汚れを吸い出すわけにはいきません。洗濯のときの泡は、十分な量の石けんが水に溶け込んでいて、洗浄力が十分ある、ということの目安になります。そして、水面に浮かんできた石けんカスなどの汚れを包み込んで、衣類に付着するのを防ぐはたらきもしています。

シャンプーのときの泡は、汚れを吸い出すだけでなく、髪の毛同士の摩擦をやわらげるクッションのはたらきをしています。泡がないと、髪の毛がこすれあって傷んでしまいます。顔や身体を洗うときも、泡で包み込んで洗うと、摩擦による肌への刺激が少なくて済みます。

このように、泡の役割は、洗うものや洗う方によって少しずつ違うのです。



日本各地で、バター不足が深刻な問題となっています。みなさんはなぜこのような事態になっているのかご存知でしょうか。

今となっては様々な要因が絡んでいますが、もともとは2000年頃からの牛乳消費の低迷にありました。少子化の影響や、「牛乳は体に悪い」などの説が流れたりもして、生乳自体が大量に余ってしまっ形となりました。

生乳からはいろいろな乳製品が生まれています。チーズ、バター、ヨーグルト、アイスクリームなどはその代表格です。製造工程上、バターを作る際には脱脂乳がでます。これを乾燥させると脱脂粉乳になります。これまで余った生乳は加工にまわされることで調整され、在庫をかかえていました。

ところが2006年、「脱脂粉乳の在庫量が限界に達した」ということで、生乳1000tが加工にまわされることなく廃棄される形となりました(今の世の中、脱脂粉乳を大量に消費するとはあまりないですからね)。

また乳牛を淘汰するのことで、乳量減産3カ年計画を国が政策として打ち出したり、今後さらに需要の拡大が見込まれるチーズを、「国内向けに流通できるように」と大規模なチーズ工場建設が進められてきました。

急な増産ができない乳製品

一方海外に目を向けると、急激に経済成長を続ける中国やロシアなどで乳製品の需要が拡大。そのうち、乳製品輸出国であるオーストラリアで大規模な干ばつが続ぎ、乳牛の搾乳量が激減し、乳製品の国際相場が急騰しました。そのため輸入品バターを使用していた国内大手メーカーが、こぞって国内産バターに手を出し格好となり、国内バターの需要が拡大。そもそも生乳は需要の多い飲料用やチーズ用に優先的に使用されるため、バターが真っ先に打撃を受けた形となっています。

このような現状を踏まえ、国もバター増産などの緊急措置を打ち出してはいますが、なかなかすんなりとはいかないでしょう。ご存知のように、牛も人間と同じ哺乳動物の仲間なので、子牛が生まれなければ乳は出ません。通常、子牛が生まれて乳が絞れるようになるまで2〜3年はかかりますので、長期的に見ていかな

ることはできません。またまだ混乱は続いています。今回のバター不足から、「日本における農業政策の根本的な見直しが必要ではないか」と感じているのは私だけでしょうか。私たちが普段口にしている食べものを海外からの輸入に頼っている現状は本気で考えものです。次回は、食料自給率の現状について書いていきたいと思っております。

安心して暮らす生活を手にするために

「バター不足」から見える

外国頼みの日本の農政

関西よつ葉連絡会・淀川産地直送センター 奥野和夫

新聞の作り方 45

石塚 直人

死を報じることの難しさ

必要不可欠な 訃報の確認作業

「マスコミの常識」は非常識。インターネットでニュースを探っているうち、こんな見出しが目に入った。児童文学者の石井桃子さんの死去（4月2日）で、某新聞文化部の記者が午前1時半に確認の電話をかけてきた、あまりに非常識というわけだ。

多人数が亡くなった 四川大地震



死を報じるとはどんなことか、改めて考える。人には固有の歴史と価値があり、死に際し

ても「個」として敬意を払われねばならない。秋葉原で8日、無差別殺傷事件により7人が殺された。中国では地震で、ミヤ

死者への敬意は払われているか？

後期高齢者医療を巡り、厚労省が捏造に等しい手法で「低所得者の負担が減る」と断言した件などは典型だ。計報の確認と不正追及は同じ根拠を持つ。ただ、そうした実態を部外者に納得してもら

「だって戦争だったんだもの…」に秘められた現実苦悩

今回御紹介するのは、ベトナム戦争時、米軍によってベトナムに大量散布された枯葉剤による被害が今も続いているさまを捉えたドキュメンタリー映画です。

そんな中、母親の1人が「誰に責任があるのかではない。だって戦争だったんだもの…」とポツリと呟きます。その戦争を巡る責任追求をしない姿勢には、「私たちがとっては、目の前にあることで手一杯なんだ!!」という心の叫びが見て取れます。

きたまさきのとっておきシアター TOTTEOKI THEATER



監督：坂田雅子 2007年/日本/71分/シロ
▼上映予定
第七藝術劇場 (TEL: 06-6302-2073) (7/5 ~)
神戸アートビレッジセンター (TEL: 078-512-5500)
京都シネマ (TEL: 075-353-4723)、西館共2 (8/23 ~)
★上映期間・時間については劇場にお問い合わせください。

対岸の火事ではありませんよ。考えてみませんか？ 決して受け止め、真の平和について行い、そして本作を完成させたのです。その魂の叫びを、現地取材を行い、そして本作を完成させたのです。その魂の叫びを受け止め、真の平和について考えてみませんか？ 決して対岸の火事ではありませんよ。

は、やはりおかしな気がする。たとえ1人でも、具体的な名前と彼や彼女が生きた証が知りた。広大な大陸を1人が2人の特派員でカバーする日本のメディアの現状は、個々の記者の努力のレベルを超えて、何とかならないだろうか。

発見！吹田の生き物と人④

クマゼミとアブラゼミ

割合で分かる地域の緑地環境



高畠耕一郎

▼クマゼミの脱皮は、とても感動的



クマゼミ 体長6～7cmの大型のセミで羽は透明。東京以西に生息し、大阪では平地や低山地に非常に多く生息している。鳴き声は「シャアシャア」。かなり大きく力強い。

アブラゼミ 体長3～4cm。全国にいるセミで、羽は茶色のまだら模様。鳴き声は「ジージー」と油が煮えたぎるように鳴くので「油蟬」と言われる。

夏休みに入る頃、早朝から「シャーン・シャーン」の鳴き声、公園の樹からよく聞かれます。でも、この鳴き声もお昼を過ぎるとぴたりと鳴き止みます。

いつから、こんなにクマゼミが増えたのでしょうか。私が子どもの頃、大阪市内に住んでいましたが、こんなにもクマゼミはいませんでした。セミといえは、羽が茶色で「ジージー」と油を揚げてくるような声の「アブラゼミ」か、「チャー」と細く高い声で鳴く「ニイゼミ」が

多々、クマゼミを捕まえること、ちよとした我慢でした。約6～7匹もあり、大きくなって、羽が透明で、樹の高いところを留まるため、小学生には捕獲しにくかったのです。

クマゼミの幼虫は、樹木の根から養分を吸って成長します。地面の中に5年～8年すんでいて、5回ほど脱皮を繰り返して大きくなって、夏の夜に地面から出てきていよいよ羽化します。

地面から出てきているセミの幼虫やセミの羽化を見ることがありますか？ 吹田自然

	アブラゼミ	クマゼミ	その他	合計
1996年	2931	2591	358	5880
パーセント%	49.8%	44.1%	6.1%	100.0%
2004年	1694	2746	334	4774
パーセント%	35.5%	57.5%	7%	100.0%

▲「セミのぬけがら調査」結果

観察会では毎年夏になると「セミの羽化観察会」を吹田市内の公園で実施しています。毎年100名近く参加する人気の観察会です。夕方6時頃、地面の穴から始め、薄暗くなる7時頃には、木に登って羽化を始めています。セミの成虫になるまで約1時間の脱皮の姿は感動ものです。子どもは目を輝かせて観ています。お母さんは産みの苦しみを思い出しながらセミに「頑張れー」と、声援を送っています。セミの誕生ドラマはとても神秘的で生き物が精一杯生きようとしている姿は、生命の大切さを体感する絶好の機会になっています。

セミは、オスしか鳴きません。そのため成虫を捕まえてお

北摂市長 N氏の悩み (第四回)

「議会は？それに」

リコールって」

の巻⑦

にしきわ 西川 たけお

前号までのあらすじ
議会の再開は1週間後となった。N氏と倉田は、土地売却の仮契約を何とか白紙に戻せないかと走り回る。そんな中、天宮は土地売却を担当した府の役職者から「今回の売却は、サービスエリアの付加価値を上げる試みを見越した出来レースではないか」との情報をつかんだのだった。

天宮がN氏や倉田にもたらした情報は、確かに一つの突破口に思えた。

開発の背後には、陸軍参謀上りの宗田謙吾があり、松村幹事長と組んでいる。彼らが裏舞台でつごめく同満懇話会の政治力をもってすれば、府有地を右から左に動かすくらいは簡単な話だ。それに財政の悪化している府が、購入すれば土地の付加価値が上がるという、そのままでどうしようもない市有地に付けた価格は振り返って見れば不自然なくらい高すぎた。

倉田「でも、天宮の話では、サービスエリアの拡張プランは北摂市が土地を売却してから話だといいますが、財務の新藤部長が調べたところでも、腹をみると、オスは腹弁という鳴く器官を持っています。メスは、真ん中にしっかりと針の産卵管が見えます。

府がこの話に噛んでいるという情報は、ないようですが「N氏」府はこの話については大した関係はないと思うよ。ただ宗田あたりから購入について何らかの圧力は受けただろうがね。それに、前市長時代に私が進言して作らせた土地の売却予定地リストにあの土地は確かに載っていたが、今思えば、旧所有者が売却を求めてきたのがいやに早かった。その割には、府に売却したいと言ったときも拍子抜けするほど、土地に執着しなかった。私が、元の所有者に売るのを反対し、府に売ったという事実だけが残った」

倉田「あの土地売却を担当した課長にもすっかりだまされませんでしたね」

北摂サービスエリアに面した

市有地を府に売却した課長も、特段の思惑があって、買い戻し特約を付けたわけではな

いだろう、と思われていた。しかし、その課長自身が売却の直後に市を辞め、松村幹事長の息のかかったところに就職している。

そして府が売却の仮契約を業者と交わした途端に、松村が証拠書類を並べて、N氏の疑惑を追及しだし、それに完全な歩調を合わせて大井戸前助役が市長のリコールをN氏に向かつて宣言した。

倉田「市長、これって誰が見ても仕組まれた話だってわかるじゃないですか。思い切った全部公開しましょうよ」

N氏「まだ無理だ。どれをいつても状況証拠ばかりだからね」

主流になり、大阪市内の長居公園では発生するセミのうち9割以上がクマゼミとの報告もあります。

(7面下へ)

南方系のクマゼミ

会費のお願い

「まねき猫通信」は、障がい者の地域生活に関わることを中心に、わかりやすい紙面をモットーに作っています。ぶくぶくの会から伝えたいことを、なるべくたくさんの方に読んでいただきたくてお届けしています。福を招き、人を招くまねき猫。「いろんな出会いをまねきたい」と思っています。ご意見、ご投稿なども大歓迎。どしどしお寄せください。

ぶくぶくの会の趣旨に賛同し、「まねき猫通信」を購読して欲しいよ！というみなさんには、購読会費のご協力をお願いします。ご協力いただける範囲で、会費やカンパをお振込いただけるとたいへんありがたいです。

また読むことができないので郵送停止をという場合もお気軽にご連絡ください。(宛名ラベルのお名前・ご住所・連絡お電話番号をそえてお願いします。宛名は1カ月前から準備するため、連絡いただいてから、もう1度郵送してしまうことがあります)

本紙購読会費にご協力下さい。



個人会員 (1部購読)	年会費	2000 円
広報会員 (3部購読)	年会費	5000 円
法人会員 (1口5部購読)	年会費	1口 10000 円
賛助会員 (購読1部、資金応援)	年会費	10000 円

郵便振替：
00940-0
-161341
「まねき猫通信」

2007 年度の通信会計報告

収入の部		支出の部	
個人会費	546,000	印刷費	1,082,025
広報会費	10,000	編集委託費	1,443,750
賛助会費	170,000	原稿経費	119,780
法人会費	10,000	郵送料	431,531
カンパ・その他	254,000	関定協分担金	108,680
カレンダー収入	361,650	振込手数料	21,160
収入合計	1,351,650	支出合計	3,206,926
会内会計より拠出	1,855,276		

まねき猫通信編集部 上田かおり



「ぶくぶくの会」がめざしているのは、障がいをもつ人が地域であたりまえに生き働ける社会です。1988年より大阪府吹田市で共働作業所をはじめ、無添加クッキーやパンの製造販売、自然食品店、リサイクルのお店などに取り組んで

「わたしたちは しょうがい人間なん

「ぶくぶくの会」は朝鮮の古い言葉から、ゆつくりゆつくりという意味で名づけられました。一人ひとり、みんな違うからこそ人間っておもしろい。誰もが、かけがえのない人生を、あたりまえに歩んでいける社会を願っています。



まねき猫通信 表紙絵 大募集!!

ねこ・まねき猫・人招き・福招き

「まねき猫通信」は、障がい者の地域生活に関わることをはじめ、社会・環境・人権など大事な問題をわかりやすく伝えるミニ新聞です。毎月1万部を、吹田市を中心に配布の他、全国の読者にも郵送しています。

この「まねき猫通信」の表紙を、あなたの絵で飾ってみませんか?

大きさ:「よこ25㍉×たて18㍉」以上。●オリジナル作品(自作のもの)。●作品の種類・数・作り方は自由。●写真、立体造形を写真撮りしたものなども可ですが、詳細はお問い合わせください。●新聞更紙に黒色印刷ですので、作品原画と表紙印刷のイメージは違うことがあります。●発行1ヶ月前に届いた中から掲載作品を選びます。●応募作品は返却しません。イベント等で展示する場合があります。

応募方法

①氏名 ②ふりがな ③住所 ④電話番号 ⑤職業または学校名 ⑥絵のタイトル ⑦簡単な自己紹介を添えて、毎号分の「表紙絵応募作品」を1ヶ月前までに、下記編集部へ届けてください。

次回切: 7月末→74ひきめ(9月1日発行)分
宛先 〒564-0025 大阪府吹田市南高浜町1-17 ぶくぶくの会
まねき猫通信編集部 宛 TEL06-6317-5598 (担当: 上田)

「6面下から」

吹田市では、1996年の夏に学校、生協、ボイスカウト、吹田自然観察会などが大規模な「セミのめぐり調査」を実施し、2004年にも学校関係者でおこなっています。ページの表が結果です。調査した地域は少し異なるころもありましたが、西方面も吹田市内で約5000の抜け殻を調べています。クマゼミが2004年には57.5%になり、逆にアブラゼミが35.5%に減っています。

このセミのめぐり調査でも、関西以南地域では森林には、セミの種類によって地域の自然環境がわかります。クマゼミは南方系のセミで、神奈川県より北には生息していません。東京にクマゼミは、ほとんどいません。気温が高くなる運動場のような場所にある木の下のにもすんでいます。一方、アブラゼミは、全国に分布していて、寒さにも強いのですが、緑が少ないところでは生息数が減ることが知られています。環境省が1995年に身近な生き物調査をした結果でも、関西以南地域では森林には

今月の表紙絵

作者 タロさんの友人

タロさんは、ずっとおかしから、うちにいる猫。ほくが病気になる前から、前といっしょでわけへだてなくしてくる友人。

お風呂に入るときは、ふたの上で待っていてくれる。ことばはいらない、すぐく大切な友人。

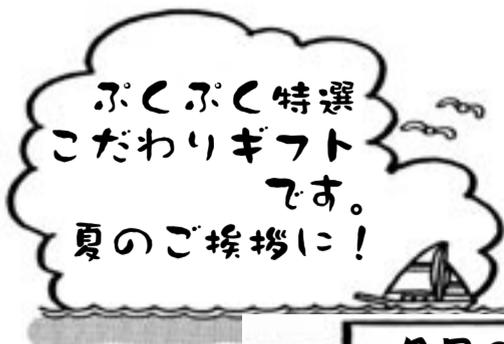
アブラゼミ、都市公園にはクマゼミが多いことが証明されています。

吹田も同じで、緑地の多い万博公園は、アブラゼミが大半でクマゼミはほとんどいません。逆に、吹田市南部JR吹田駅や江坂付近の学校や公園は、クマゼミが圧倒的に多いのです。

皆さんの地域で、この夏、クマゼミとアブラゼミのどちらの抜け殻が多いか調べてみてください。それによって、緑地環境が見えてきます。

ご注文・お問い合わせ ぷくぷくつうはん係

〒564-0025 吹田市南高浜町1-17-2
TEL.06-6317-0661 FAX 06-6317-0936
※ファックスまたは郵便でご注文いただきますと、送料その他の割引サービスが適用されます。
※北海道・沖縄・離島などの遠隔地域へは別途送料が加算されます。



今日のおすすめ商品

3709 ぷくぷくクッキーギフト



(送料込) 6袋入 ¥2,500
◇いよかん・チョコチップ・ミルク・プレーンクッキー等6種類を箱詰・包装

3708 クッキーギフト

(送料込) 3袋入 ¥1,500
◇いよかん・ミルク・プレーンクッキー等3種類を箱詰・包装

3805 さわやかデザートギフト トコゼリー 9ヶ



(送料込) ¥2,500

3804 トコゼリー 6ヶ

(送料込) ¥2,000

◇土佐の天草使用、無香料・無着色、果肉ジュース100%使用のオレンジ・パイン・ピーチ・ぶどうなどトコゼリー9ヶ6ヶおまかせのギフト箱詰合せ・包装

gss-35 島原手延べそうめん ギフト (箱入り)

(50g × 54束 送料込) ¥3,800

ss-1 50g × 6束 ¥350

◇手延べ独特の腰の強さ、国産小麦の味わいに深さ、ちょうど良い塩加減がおすすめ!

水羊羹 6226 小倉 6227 抹茶 6228 こしあん



100g ¥137

◇あんこ屋さんが作った有機JAS認定の水ようかんです。有機砂糖・有機小豆を使用した夏のお茶の友に最適です。有機水ようかん ①小倉 ②抹茶 ③こしあんの3種類。

トコゼリー 6113 パイン 6114 オレンジ 6115 ピーチ



130g ¥160

◇足摺の海で採れた天草、特製のこんにやく粉をベースに夫々のフルーツをたっぷり加えた低カロリーで食物繊維一杯の食品。保存料・合成着色料・香料不使用なので、自然の味そのまま、独特の弾力と爽やかな風味 パイン・オレンジ・ピーチの3種類。

健康飲料 (紙パック) 200ml ¥105



6136 カルシウムシークワサー

◇シークワサー果汁にカルシウムを加えた爽やかで美味しいカルシウムイオン飲料

6150 アセロラドリンク

◇ビタミンCが豊富なアセロラにオリゴ糖を加えたヘルシーなドリンク

6154 カルシウム飲料鉄入り

◇成人一日必要量の約1/3のカルシウムと鉄分を含む飲料。ヨーグルト風味

7000 沖縄特産春ウコン茶 (ペットボトル)

500ml ¥150

◇沖縄産の春ウコンを主原料にグアバ・霊芝・ドクダミ等をブレンドした飲料水

一九八四年八月二〇日第三種郵便物承認 毎日発行 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市城東区東中浜二一〇・二三 緑橋グリーンハイツF 編集人 ぶくぶくの会 吹田市南高浜町一・一七・二A (総務) 頒価 一部二〇〇円

ぷくぷくの会 総務事務所 ☆総合受付事務センター ☆まねき猫通信編集部 AM10:00 ~ PM6:00 休み:土・日・祝 〒564-0025 吹田市南高浜町1-17-2A TEL. 06-6317-5598 FAX. 06-6317-0936 E-mail: so-mu@puku-2.com http://www.puku-2.com/	喫茶「すいたばん」 吹田勤労者会館 1F JR 吹田駅東側 就労移行支援センター 〒564-0031 吹田市元町19-15 丸二ビル 102号 TEL 06-6317-5650 FAX 06-4867-3030	すいた共働作業所 作業屋 ☆ぶくぶくクッキーと沖縄ウコン茶など店頭販売しています ☆各種委託作業・清掃・ポスティング等 AM 10:00 ~ PM 4:00 休み:土・日・祝 〒564-0032 吹田市内本町3-24-15 1F TEL. 06-6383-7127	すいた障害者就労支援センター ☆障害者の就労についての相談や支援をしています ☆昼間は就労実習や職場訪問等に出ています。ご利用の方はまず電話連絡を AM 10:00 ~ PM 6:30 休み:土・日・祝 〒564-0031 吹田市元町19-15 丸二ビル 102号 TEL 06-6317-3749 FAX 06-4867-3030
無添加クッキー工場 ぷくぷくワールド (社会福祉法人 ぶくぶく福祉会運営 知的障害者通所授産施設 定員35人) ☆クッキー・石けん等の店頭販売あり! ☆チラシ印刷のご注文もヨロシク! AM9:30 ~ PM4:30 休み:土・日・祝 〒564-0036 吹田市寿町2-17-17 TEL. 06-6317-5588 FAX. 06-6317-5320	リターン工房 ☆自転車がお買い得です ☆アルミ缶や牛乳パックを集めています ☆リサイクル品の市内引き取り、受付します。 AM10:00 ~ PM5:00 休み:土・日・祝 〒564-0001 吹田市岸部北 2-4-12 TEL & FAX. 06-6337-5342	自然食品・よつ葉のお店 ぷくぷくショップ ふるさと広場 ☆旬の野菜、肉・魚・乳製品、調味料等 ☆定期購入のお客様を募集しています AM10:30 ~ PM6:30 休み:土・日・祝 〒564-0025 吹田市南高浜町1-17-2 TEL 06-6383-2222 FAX 06-6383-2255	すいた自立支援センター ねばーらんど ☆吹田市障害者生活支援事業 障害者の生活相談を広く受付します 事務所受付: 平日 AM10:30 ~ PM6:00 休み: 土日祝 (予約の相談・活動のみ) 〒564-0032 吹田市内本町3-24-15 ぶくぶくビル TEL. 06-6317-2776 FAX. 06-6317-2778
スマイルぷくぷく (知的障害者通所授産分場施設 定員15人) ☆パンとクッキー作りを中心に様々な活動をしています。 AM9:00 ~ PM4:00 休み:土・日・祝 〒564-0002 吹田市岸部中 1-19-19 TEL. 06-6337-8050 FAX. 06-6337-8840	リサイクルハウス ぷくぷく ☆衣料品や小物、家庭雑貨のお店です。 ☆格安の掘り出し物がいっぱい! ☆物品提供にご協力をお願いします。 AM10:00 ~ PM5:00 休み: 土日祝 〒564-0001 吹田市岸部北 2-7-20 TEL&FAX 06-6339-0791	きっちん・ワーク ☆体育館内のレストラン。喫茶・軽食 ☆障害者の現場実習にとりくんでいます AM11:00 ~ PM6:00 休み:月、祝の翌日 〒564-0021 吹田市目伎町1-11 吹田市立目伎市民体育館内1F TEL. 06-6383-3017 (呼)	吹田ヘルス協会 アル ☆身体・知的・児童居宅介護事業所 ☆日常生活や外出に必要なヘルパーを派遣 ☆ヘルパー利用時間はご相談に応じます 事務所受付: 平日 AM10:00 ~ PM6:00 (ヘルプ派遣は年中無休です) 〒564-0032 吹田市内本町3-24-15-205 TEL. 06-6317-1256 FAX. 06-6317-1290